

新サービスのご案内（12月18日発表）

ラングテック、日常語日英翻訳のネットサービスを開始

-日常英語での情報発信（Eメール・ブログ、日常会話）や英作文・英会話学習の手軽なツールに-

新潟大学発ベンチャーである株式会社ラングテック（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：宮崎正弘）は、創業者である新潟大学名誉教授・宮崎正弘が30年あまり取り組んできた自然言語処理の研究成果を基に、日常生活において、話したり、書いたりする身近な日常日本語を、中学レベルの平易でわかりやすい日常英語に翻訳する日常語日英翻訳ソフトLaurel-IIを開発し、12月18日よりインターネット上でLaurel-IIの有料サービス（愛称：話せるよーん・書けるよーん!）を開始した。

本サービスは、インターネットにアクセスできるパソコン、タブレット端末、スマートフォンで利用でき、日常日本語で書かれた記述文（書き言葉）、会話文（話し言葉）、およびEメール（パーソナルEメール、ビジネスEメール）・ブログ文の日英翻訳を提供している。本翻訳ソフトは、長期的には文脈を考慮した高度な翻訳処理を導入して、小説など文学作品の高品質な日英翻訳を実現するという高い目標を掲げて研究開発を進めているもので、当面、日常会話やEメール・ブログなどネットを介した日常英語での情報発信、および英作文・英会話の学習・教育のツールとしての利用を想定している。また、ゲームソフト、マンガ、アニメ、映画などクール・ジャパンとして海外で評価されている日本語コンテンツの英語化に有効なツールとなり、日本語コンテンツの海外展開にはずみがつくものと期待される。

本サービスには、3種のサービス形態がある。個人向けサービスは1IDのみの契約で月額利用料金（税別）は834円で1年分一括払い、学校・学習塾などの教育機関向けサービス、および企業・官公庁・団体などの法人向けサービスは2ID以上の契約で1ID当たりの月額利用料金（税別）はそれぞれ500円、1,000円である。多数のIDをまとめて契約する教育機関／法人ユーザにはID数に応じた割引の特典がある。なお、教育機関／法人ユーザとしての利用に先立ち、個人ユーザとして利用することもでき、学部・学科・研究室や局・部・課などの単位でも契約できる。本サービスの試用希望者には、30日間有効の無料の試行IDを発行する。詳細はラングテックの公開WEB <http://www.languetech.co.jp/>を参照されたい。

Laurel-IIは規則・用例融合型のハイブリッド翻訳方式を採用しており、会話文は定型的表現だけでなく、非定型的表現にも対応している。特定の専門分野には依存しない日常日本語が翻訳対象であるため、技術文や新聞記事文などにみられるような長文には対応していない。しかし、日本語的発想によるこなれた日本語に対応するため、日英間の発想の差を吸収する日本語書き換え機構を導入し、慣用句・ことわざ・コロケーション（語と語の習慣的結び付き）の翻訳、固有名詞を含む同形語・多義語の判別や訳し分け、名詞句・複合名詞の翻訳などの機能を充実させている。また、既存の翻訳ソフトでは無視されるか十分には対応できていない、日本語において省略されることが多い主語などの補完、助詞「は」「が」の差異を考慮した翻訳、冠詞付与、名詞の数の決定、適切な前置詞の選択などの機能も充実させている。それにより、日常日本語を中学レベルの平易でわかりやすい日常英語に翻訳する、他に類を見ない画期的な翻訳ソフトを実現している。さらに、なぜそのような訳文が出力されたかをユーザに示す翻訳過程可視化、日本語入力文と訳文の対を利用者データベースに保存するMyDBなどユーザに便利な機能を備えている。中学・高校で学ぶ英文法事項を網羅した日英対訳例文集である日本語表現分類体系も備えており、翻訳過程可視化機能と併せて、英語学習・教育に有効利用できるものとなっている。

今後、辞書、変換パターン、日本語書き換えパターン、用例の充実などを継続的に進め、翻訳能力のいっそうの向上に努めていくとともに、教育機関などと協力して英作文・英会話の学習・教育に有効で使い勝手のよいツールとするための改良などにも取り組んでいく予定である。

株式会社ラングテック

代表取締役社長 宮崎正弘

〒157-0073 東京都世田谷区砧3-19-5

本件に関する問い合わせ先：info@languetech.co.jp